

多摩市ニュータウン再生推進会議 (参考資料編)

(令和2年度 第2回)

令和3年1月25日

I. 南多摩尾根幹線沿道土地利用方針の検討

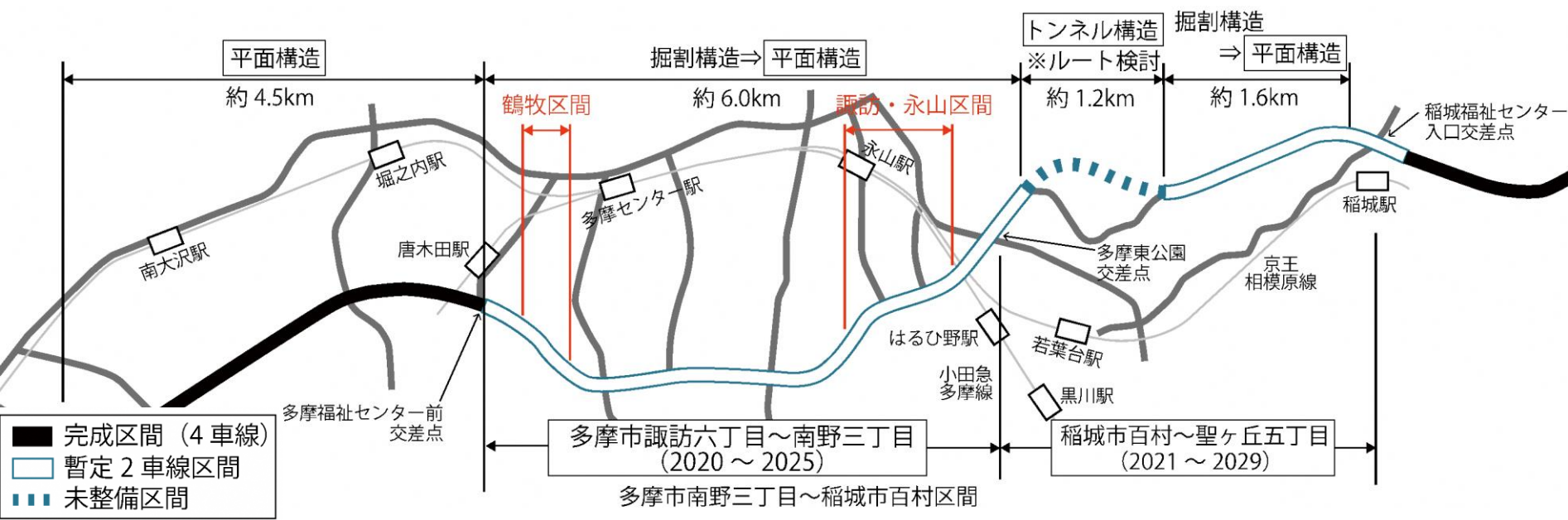
○. 尾根幹線の整備概要

0.尾根幹線の整備概要

(1) 尾根幹線の整備概要

①尾根幹線の整備方針

- 唐木田区間においては車道の4車線化が完了。
- 聖ヶ丘五丁目～南野三丁目区間が2020（令和2）年～2025（令和7）年の事業期間を予定。
- 稲城市百村～多摩市聖ヶ丘五丁目区間は2021（令和3）年～2029（令和11）年の事業期間を予定。
- 尾根幹線の全線整備は2029（令和11）年を予定。



出典：多摩都市計画道路3.1.6号南多摩尾根幹線（多摩市聖ヶ丘五丁目～南野三丁目区間）（平成29年10月 東京都）を参考に作成

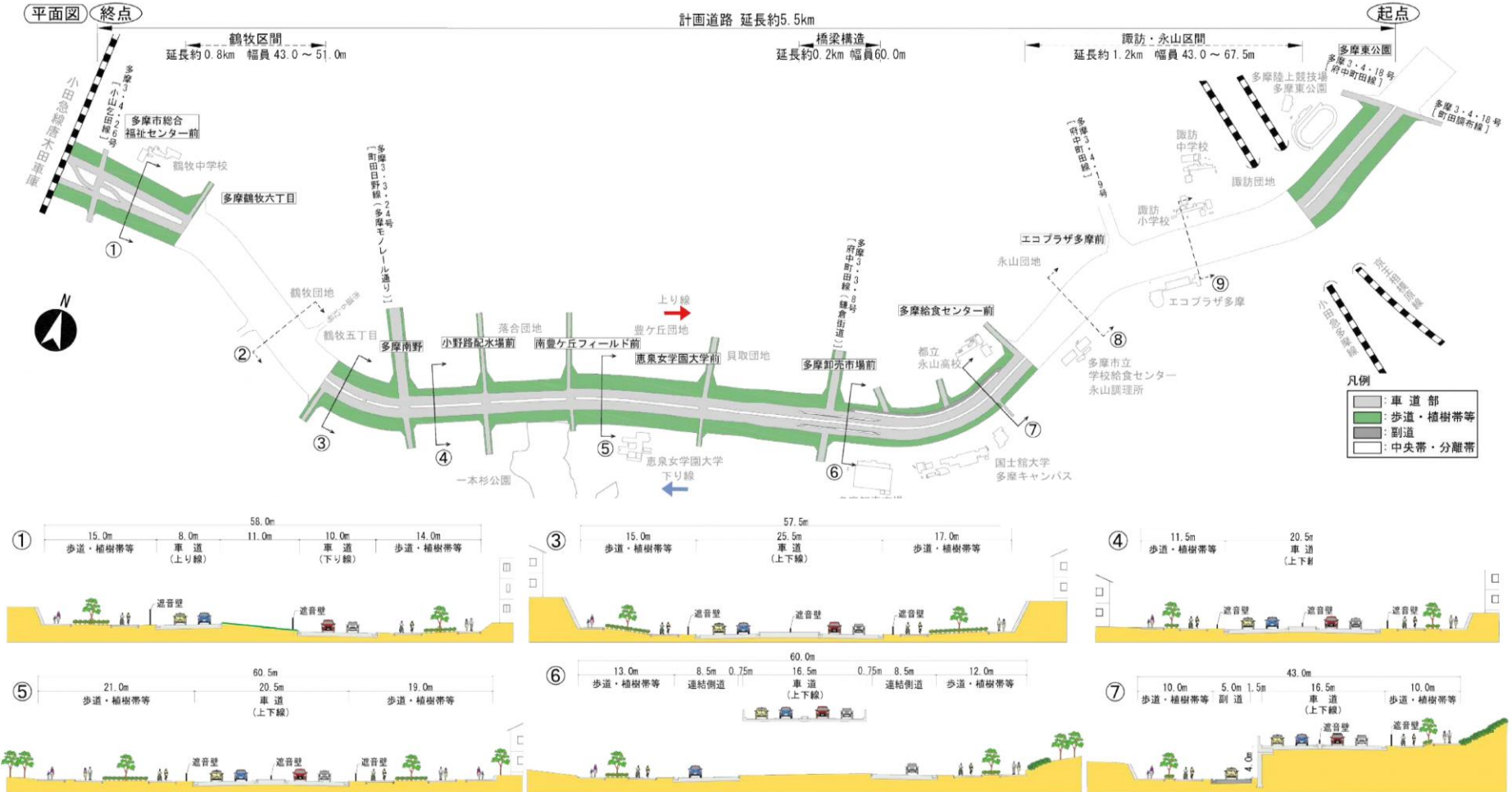
0.尾根幹線の整備概要

(1) 尾根幹線の整備概要

②多摩市諏訪六丁目～南野三丁目の標準区間図

【標準区間】

平面図 終点



※計画道路の幅員構成や整備形態については、今後、関係機関との協議により変更となる場合があります。

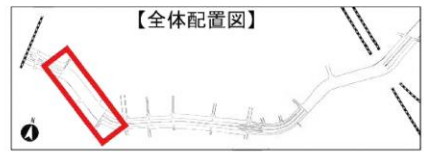
出典：多摩都市計画道路3.1.6号南多摩尾根幹線（多摩市聖ヶ丘五丁目～南野三丁目区間）建設事業」事後調査計画書（2019年12月）

(1) 尾根幹線の整備概要

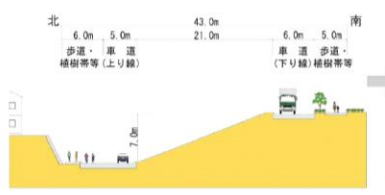
③ 「鶴牧区間」及び「諏訪・永山区間」の状況

「計画段階環境影響評価」に基づき、「鶴牧区間」及び「諏訪・永山区間」は車道が異なる複数案を作成し、以下案に決定され、道路整備を実施中。

【鶴牧区間】



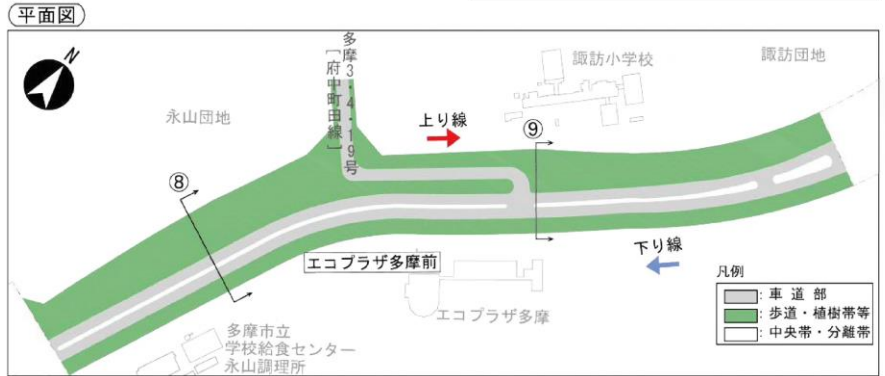
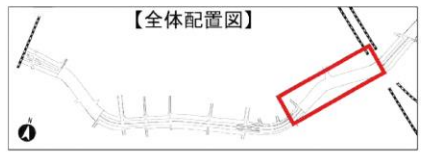
横断図② 【現況】



【将来】



【諏訪・永山区間】



横断図⑧ 【現況】



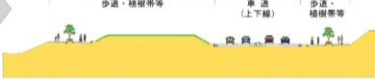
【将来】



横断図⑨ 【現況】



【将来】



※計画道路の幅員構成や整備形態については、今後、関係機関との協議により変更となる場合があります。

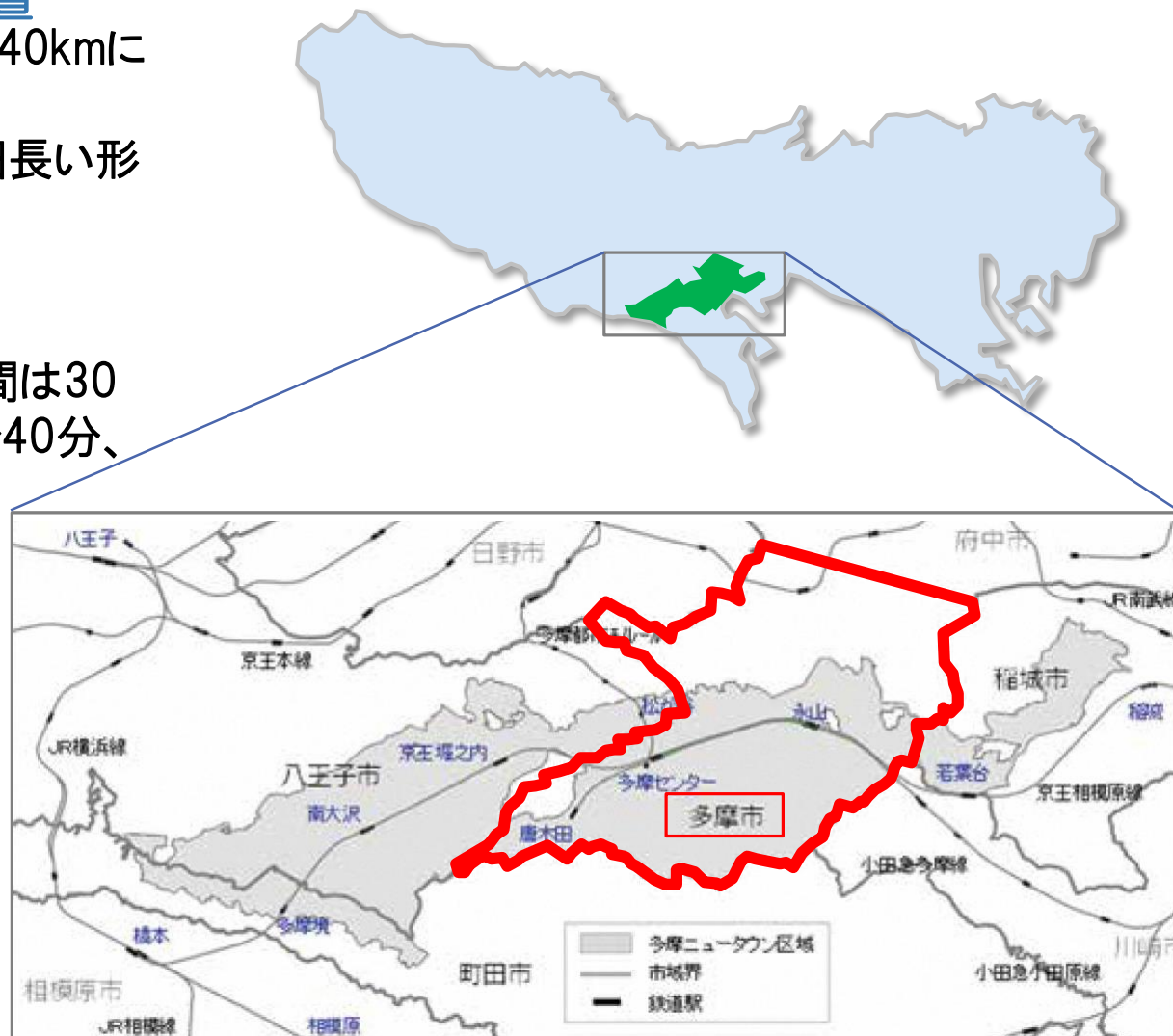
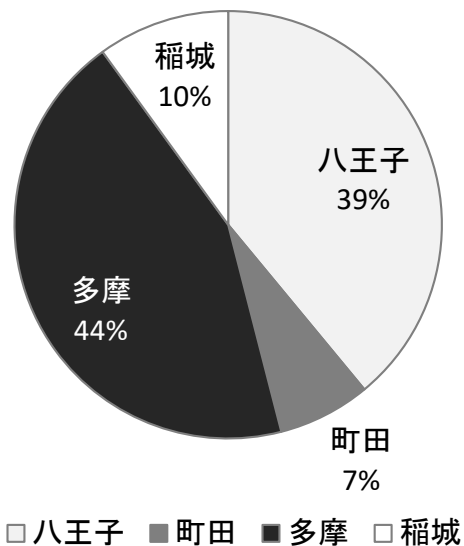
I. 南多摩尾根幹線沿道土地利用方針の検討

2. 尾根幹線沿道の現状分析と 拠点間の機能整理

(1) 位置

■多摩ニュータウンの位置

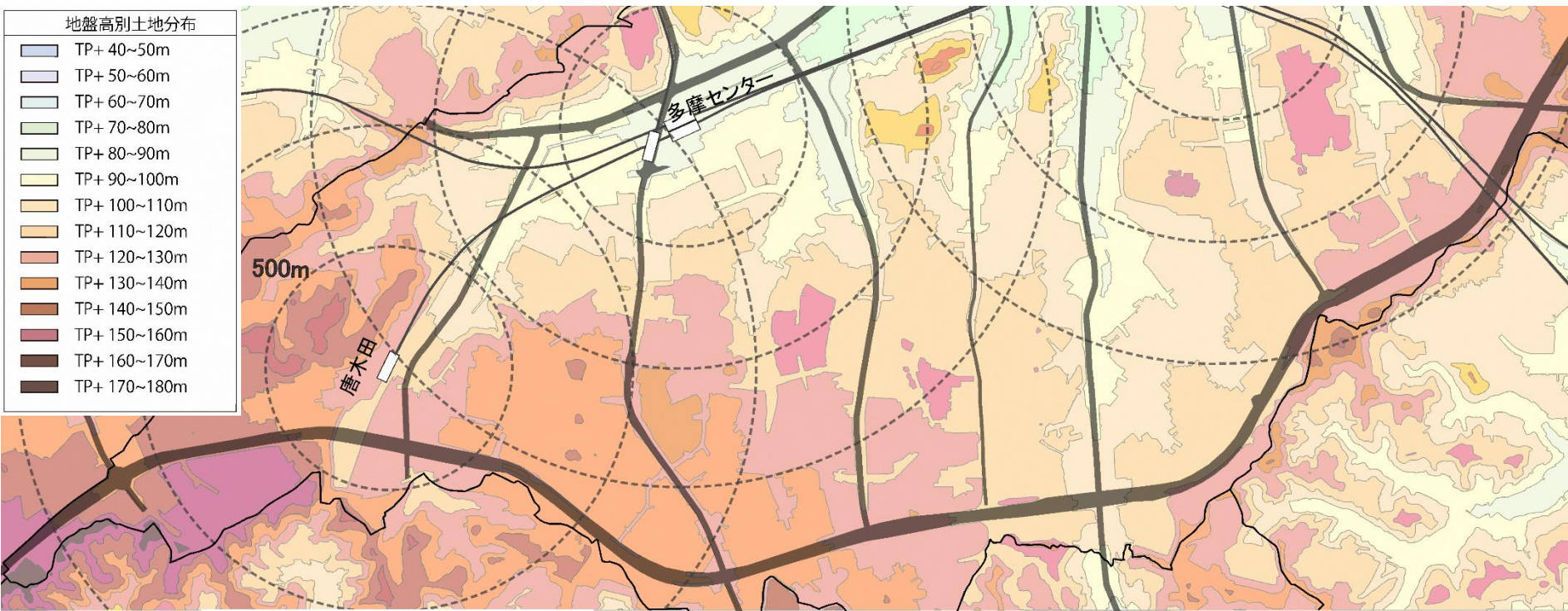
- 東京都心から西南約25km～40kmに位置する
- 東西14km、南北1～3kmの細長い形
総面積:約2,853ha
- 居住計画人口:約30万人
- 現在:約22万4千人
- 電車での新宿駅への所要時間は30分程度、尾根幹線経由の車で40分、自転車で1時間50分程度。



(2) 地勢

■ 標高図

- 谷戸の部分に鉄道や主要道が配置されており、駅から離れるほど高地で構成。
- 幹線道路や駅から宅地への高低差が大きい。
- 尾根幹線沿道では、永山地区と貝取地区は概ねTP+110~120mで構成、他地区はTP120m以上で構成。



(3) 防災

■東京危険度マップ

- 多摩ニュータウンは多摩丘陵のほぼ中央に位置し、地盤が安定。
- 尾根幹線沿道も東京都危険度マップでは、多摩市内の沿道は危険度1に指定。

※地域危険度

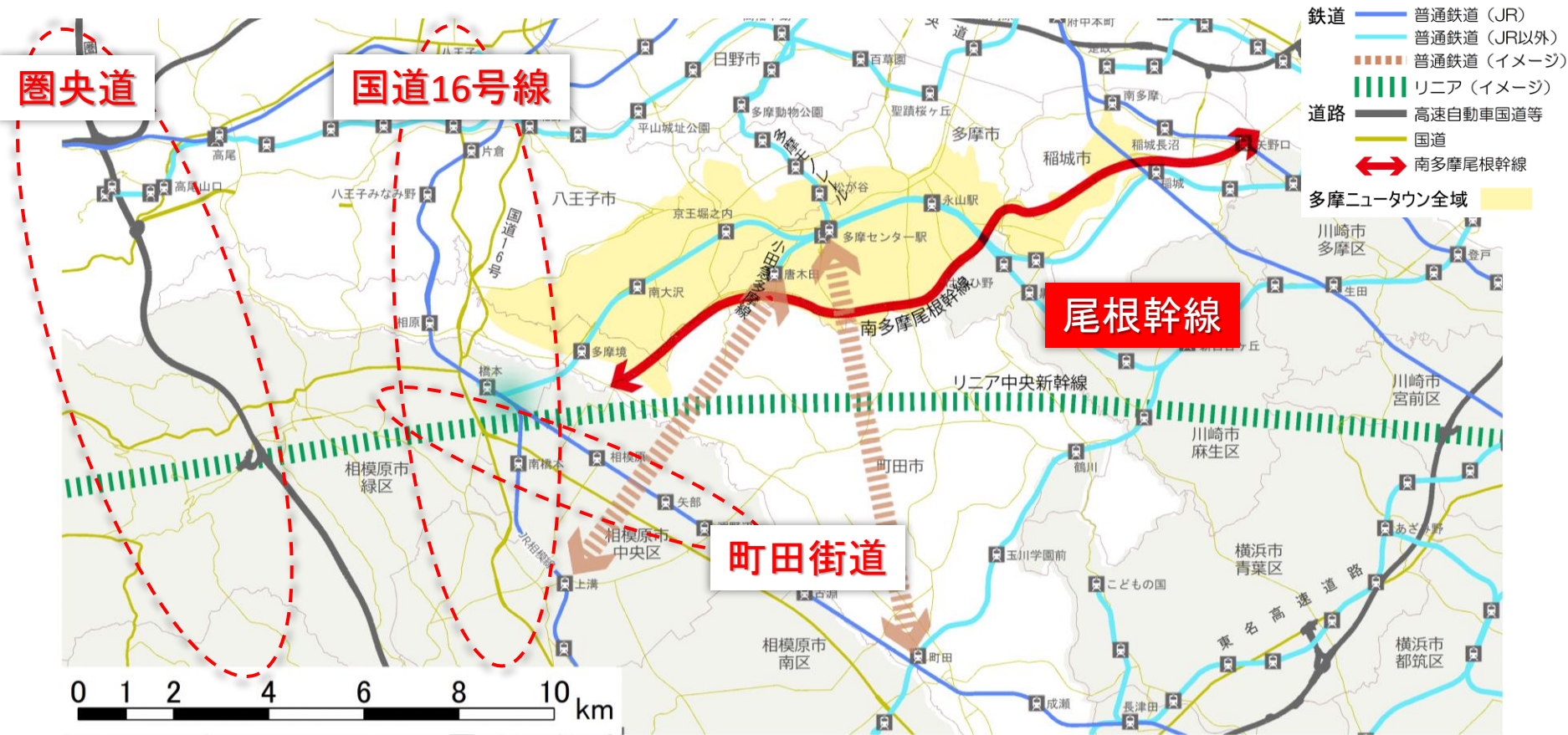
都内の市街化区域の5,177町丁目において各地域における地震に関する危険性を測定し、地震の揺れによる建物倒壊の危険性及び火災発生による延焼の危険性、避難や消火・救急活動の困難等より評価。



(4) 交通

①広域道路状況

- 多摩ニュータウン周辺には、北側に中央道、西側に圏央道が立地し、多摩ニュータウン西側では国道16号線にも隣接する。
- 4車線化が進行する尾根幹線は町田街道を通じて国道16号線に接続する。



(4) 交通

②広域鉄道状況

- 2016年（平成28年）に、国の交通政策審議会の答申にて、多摩都市モノレール、小田急多摩線の延伸が意義のあるプロジェクトに位置づけ。
- リニア中央新幹線は2027年（令和9年）に開通予定。



(4) 交通

③公共交通網（多摩市多摩ニュータウン）

- ・貝取・豊ヶ丘や駅から通りエリアはバス利用圏域。
- ・諏訪・永山地区の尾根幹線沿道にバス路線の立地はなし。その他地区には多摩センター駅と唐木田駅と京王永山駅を經由するバス路線が4路線立地。

